

先進テクノロジーによる海の体験格差解消プロジェクト実施報告



VIRTUAL OCEAN PROJECT



バーチャルオーシャン製作委員会



概要

院内学級生徒、コロナ禍で年間行事のなかった小学校生徒、一般の方など、身体的・環境的問題により今年海に行けなかった人を対象とした授業の実施により海体験の提供とともに、海洋問題について広く周知啓発すること、ならびに「子供向け海の学び授業の事業化」を目標に設定

水中ドローンの360度リアルタイム映像とVR技術を組み合わせ、教室内などのリモート環境でも疑似海中遊泳ができる世界初のシステムとリモート授業を様々な対象・形態で5種類開発・実施し、高い満足度と教育効果を達成

実施

水中ドローンに8K360度カメラを搭載し撮影できる環境整備
箱根園水族館、八景島シーパラダイスにて大水槽内の8K撮影を実施



水中ドローン



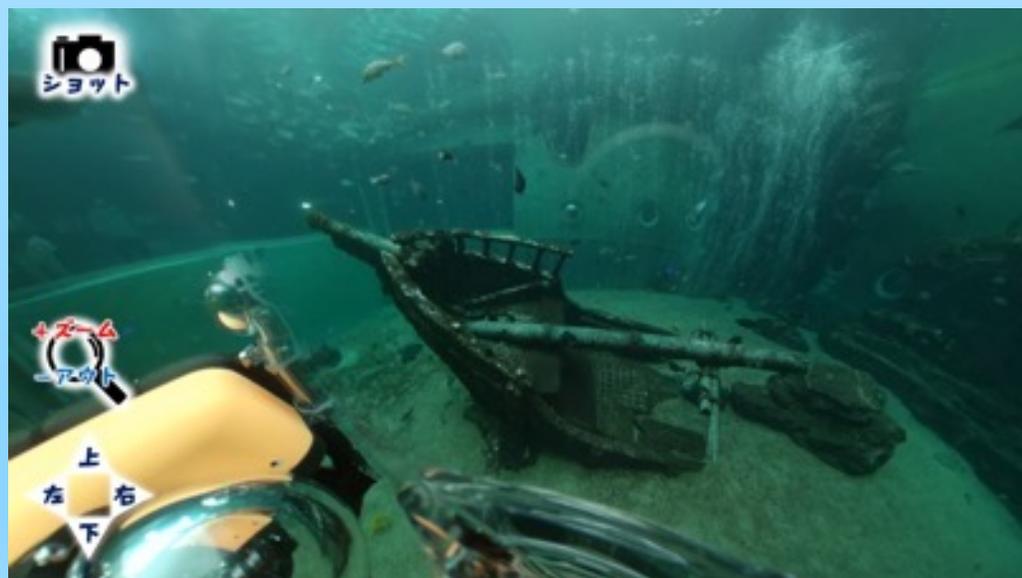
箱根園水族館での撮影



八景島シーパラダイスでの撮影

実施

ZoomなどのWeb会議ツールを用いて、遠隔でもVR体験できるシステムを制作



箱根園水族館映像により遠隔VR



八景島シーパラダイス映像により遠隔VR

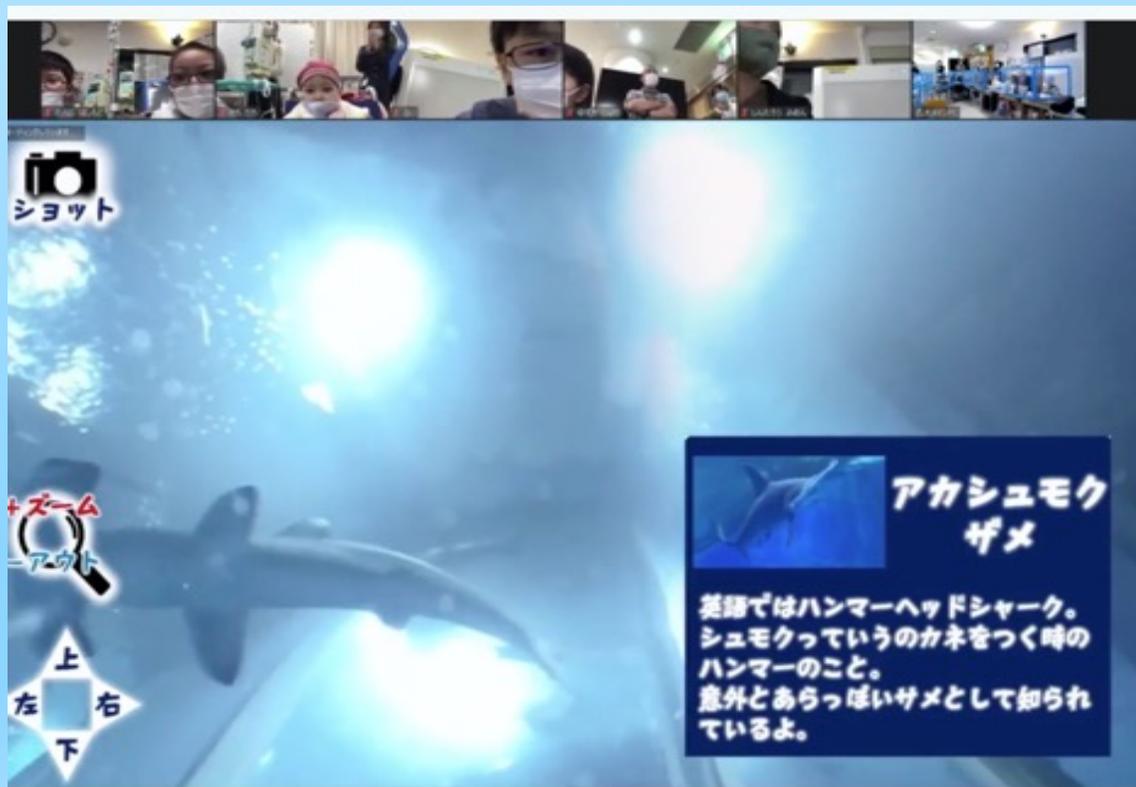
実施

リモート演劇による海の学び授業の開発



実施

院内学級向けリモート2回、個人向けリモート1回、小学校向け集合1回、一般向けリモート1回の計5回の授業を実施。満足度99%を達成



院内学級でのリモート授業



授業の様子



小学校での授業



小学校での授業の様子



個人向けリモート授業



一般向け向けリモート授業

露出

リリース掲載40媒体、授業記事掲載12媒体（うちTV放送1件、新聞4件）



Webでの露出



TVでの露出



新聞での露出